

令和3年度 学校関係者評価結果  
報告書

令和4年1月

学校法人 大志学園

専門学校 早稲田国際ビジネスカレッジ

2022年1月27日

専門学校 早稲田国際ビジネスカレッジ

## 早稲田国際ビジネスカレッジ 報告書

### 第一議題

#### 専門学校早稲田国際ビジネスカレッジ 2021年度活動報告

(令和3年4月1日～令和4年1月27日現在)

##### 1. 概要

(1)教育について (テキスタイル学科)

①デザイン案を考える際、市場調査を繰り返し複数案提案する。提案されたものを拡大・統合・整理を繰り返しながら制作を行うことで、デザインを研鑽し完成に近づけていく。この試みは現場と同等の仕事の進め方を行う事で即戦力として対応できる人材を育てるために行っている。

③学校オリジナルブランド「志」を2020年発足、制作だけに留まらず販売方法を実践で学ぶ教育の場として活用している。卒業後に作品販売や独立を見据えた教育を行うことで自立できる人材育成を行っている。(添付資料1)

④作品作りを行う際、最初から最期まで自分の手を使って制作を行っている。この実習を行うことで製造工程の理解につながり、製造工場との対話や生産管理に直接つながる知識を得ることが出来る。(添付資料2)

(2) 学科名変更について

2022年4月からデザインを広く学べる学科として「テキスタイル学科」から「デザイン総合学科テキスタイルデザインコース」へ名称変更、学科名変更に伴い4月から「レザークラフト」「アクセサリー」の授業を取り入れテキスタイルと融合した作品制作やテキスタイルを含めたトータルでコーディネート提案できるような人材育成を目指す。

(1)教育について (国際教養学科・国際情報学科)

①今年度は学校の方針として、コロナの感染対策に努めながら、原則、対面形式で授業を行った。第6波のピーク時にオンラインと対面との併用、いわゆるハイブリット形式に切り替えたが、終始、対面形式の講義方式は残した。

②就職に力を入れるため、本校の卒業生ですでに就職している者を学校に招待し、就活セミ

ナーを年4回開催。また、大手企業であるNTTデータやADKホールディングズの採用担当を招待し、採用を見据えた就活勉強会を開催。進学だけでなく、就職にも対応していることを教育内容に盛り込み、今後、アピールしていく。(添付資料7)

③コロナ下における学外行事は差し控えたが、10/29に進学・進路壮行会を国立オリンピックセンターで開催。大学受験や就職が活況を帯びるタイミングでモチベーション意識の向上、実践的対策を行った。(添付資料8)

4段階評価平均 [4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切]

評価項目 (教育について)	評価 (4~1)
専門分野の特性が明確になっているか。	4
現場に即した授業をしているか。	4
卒業後の事を考慮した教育がされているか。	4
コロナ禍に対応した授業をしているか。	4

**【指摘事項】**

なし

**(2) 教育連携の強化 (テキスタイル学科)**

制作に夢中になる事が多く勉強熱心な一面、自分の将来像や目標が明確化されていない学生も多数いる。現場での仕事の理解と目標に向かう意識を高めるために、今最も活躍しているデザイナーの方を招き仕事や制作への取組を話していただくことで意識向上につなげる。

(下記の活動報告参照)

**主たる活動報告**

①教育連携報告 (添付資料 3-1~3-2 参照)

- ・アーティスト、デザイナー特別講座を開催

【特別講座】デザイナー 太公良 (7/6)

【特別講座】テキスタイルデザイナー 須藤玲子 (10/17)

**(2) 教育連携の強化 (国際教養学科・国際情報学科)**

年度の前半は進学対策、後半は就職対策を行う。入学してくる留学生のレベルが高いため、当校を卒業してから大学や大学院に進学し、その後、就職を目指す学生が多い。

①難関大学進学セミナー (7/29) (添付資料9)

難関大学の入試担当や教授が来校し、学校説明会や特別講義を実施

(参加大学) 国際基督教大学、青山学院大学、中央大学、関西学院大学、法政大学、明治大学、東京理科大学、関西大学、立命館大学

## ②就活勉強会 (2/15)

NTT データ、ADKホールディングズの人事担当者による会社説明会を開

4段階評価平均 [4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切]

評価項目 (教育連携の強化について)	評価 (4~1)
教育活動に則った外部講師を呼んでいるか	4

### 【指摘事項】

なし

## 第二議題

### テキスタイル学科事業報告

#### 1. 専門課程報告

在籍者テキスタイル学科基礎1年12名、2年22名、経験者1年1名 合計35名  
卒業後の進路として就職・進学・独立の3本柱を中心として募集に力を入れる。

#### 1. 卒業後の進路

##### (1) 2021年度就職実績 (2022/2/2時点)

就職希望者6名中4名内定、2月末までに+1名見込み

小野江織物 株式会社 1名、カジレーネ 株式会社 1名、茶久染色 株式会社 1名、株式会社 ヒカリ塗装 1名

##### (2) 2021年度合格実績 (2022/2/2時点)

京都市立芸術大学 大学院 1名、東京造形大学 大学院 2名、多摩美術大学 大学院 1名、女子美術大学 大学院 1名、京都芸術大学 1名、大阪芸術大学 2名、女子美術大学 3年編入 1名、成安造形大学 3年編入 1名、日本大学芸術学部 1名、

## 2.授業内容

最初から最期まで自分の手を使い、テキスタイル制作する事で1枚の生地を作る過程を把握する事ができる。データ制作の際は Photoshop を使用することで、技術修得することができる。この体験を得て卒業した学生は生産工場とやりとりすることが出来、アドバイスや工程改善を提案することが出来る。また生産現場で使用している機械は、手作業で行っている事を自動化したものであるため製造工程の理解は大事な基礎となる知識である。

### (1)プリント実習

リピートデザインの知識から版制作、捺染、洗いまでの過程を学校内で全て完結する事が出来る。市場に出回っているプリント生地と同等のものを学校内で制作することが可能である。ここで出来上がった生地を縫製業者へ依頼して雨傘を制作、生地だけでなく製品イメージをつかむことも行っている。(添付資料 4-1~4-3 参照)

### (2)織実習

オリジナルデザインを制作、様々な組織の実習体験と糸の染色を通し織生地制作することが出来る。ここで制作した生地を縫製することでオリジナル衣裳や雑貨を制作することが可能である。(添付資料 4-4~4-5 参照)

### (3)友禅実習

友禅の基礎体験から帯制作、学年が進むとパネル制作等 友禅制作に必要な知識を学ぶことが出来る。担当講師は作家として長年の経験があり、作品制作だけでなく物創りへの心構えを含めたアドバイスを行っている。(添付資料 4-6~4/9)

### (4)アパレル企画

制作物の企画から上代設定、製品名の付け方といった企画を立てるための授業。ボード制作から発表までを行い企業に入った際、役立つ経験として企画の立て方からプレゼンテーションまでを学ぶことが出来る。(添付資料 4/10~4/11 参照)

### (5)EC サイト

写真撮影、写真修正、ネットへの掲載方法等を学ぶ。ここで写真の撮り方から修正を学ぶことで個人活動する際に必要な知識を学ぶことが出来る (添付資料 4-12~4/13 参照)

### (6)卒業制作

展示方法や企画、展示に使う備品等を実践で学ぶことができる。

今年度実施 2022年2月22日~3月6日 佐藤美術館(添付資料 4/14~4/15 参照)

## 3.高等学校への出張授業 (添付資料 5-1~5/2 参照)

人が成長するためには「知育」とともに心を育てる「情操教育」が必要になってきます。実習をして手を動かす授業を体験することで様々な感情が得ることが出来る。

温故知新・愚行移山・一意専心をテーマに染色体験を通して心の成長に繋げていく教育を行っています。また認知度の低い「テキスタイル」という言葉を広げていく活動の一環として取り組んでいます。

高等学校名は割愛

#### 4.学外への発信

学内の授業だけに留まらず学外展示やイベントを通して、発表する喜びやデザイナーとしての体験を持たせる。

(1)富岡製糸場特別展示 テキスタイル学科作品展（添付資料 6-1~6/5 参照）

2021年11月24日~12月20日開催

7/2 富岡製糸場、碓氷製糸 見学

9/10 富岡市世界遺産部富岡製糸場総合研究センター所長 結城雅則 ZOOM 講義  
見学と講義を通して「富岡製糸」「絹」「蚕」などをイメージしたスカーフ作品を制作。

展示で来場者アンケートを行い 1 位になった作品は富岡製糸売店と学校ブランド「志  
kokorozashi」で販売予定 アンケート総数 155

(2)染の小道 2022

2022年2月25日~2月27日開催予定

新宿区中井・落合を中心に開催する染色イベント

テキスタイル学科は9店舗を担当、暖簾制作を行い各店舗に展示

学生は各店舗に調査へ行き、店舗イメージや店舗の成り立ち客層を聞き取り調査、ここで調査した内容をもとに暖簾制作を行う。

(3)卒業制作展

2022年2月22日~3月6日開催予定

公益財団法人 佐藤国際文化育英財団 佐藤美術館で展示、卒業制作作品以外に通常授業で制作した作品も展示予定。

## 国際教養学科・国際情報学科事業報告

### 1. 専門課程報告

在籍者国際教養学科1年71名（内留学生70）、2年42名（内留学生42）、国際情報学科1年33名（内留学生33）、2年23名（内留学生23） 合計169名

卒業後の進路として進学・就職に力を入れる

## 1.卒業後の進路

進路就職先割愛

## 2.授業内容

### (1) 専門科目

国際教養学科は異文化理解、比較文化論、国際経営、国際協力など、国際関係や教養系の科目を中心に指導し、国際情報学科は国際情報、国際ビジネス、コンピュータ概論、情報処理、プログラミングなど主にIT関連の専門科目を履修させた。

### (2) 進路対策

進学にも就職にも対応できるように、ビジネスマナー、資格検定対策、キャリアデザイン、ライフデザインなど、将来を見据えた科目を指導した。

### (3) 日本留学試験、大学受験対策

大学受験を希望する留学生を対象に、日本の共通テストに当たる留学生用の日本留学試験対策（日本語、政治経済、地歴、数学、理科）、大学受験対策として小論文、大学院希望者向けには研究計画書の作成、プレゼンテーションなどの科目を履修させた。

4段階評価平均 [4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切]

評価項目（事業報告について）	評価（4～1）
学科の内容に即した授業を行っているか。	4
実習における基礎教育を行っているか。	4
卒業後の進路に力をいれているか	4

### 【指摘事項】

なし

### 今後の取組

#### (1) テキスタイルデザイン協会との取組

テキスタイルデザイン協会が主催するTDAセミナーで学校の取組と「志」を案内、テキスタイル業界と教育業界へ発信する。(11月)

## (2)地域との取組

新宿区との地域連携を行いイベントの参加。地域の認知度を上げる。(新宿区文化観光産業部文化観光課、東京商工会議所、新宿観光振興協会等) 学校の取組、合同イベント企画を行う。

新宿区染色協議会協賛「染の小道」2019年・2020年・2022年参加

2021年はコロナウィルスの影響により「染の小道」中止

## (3) 国際コミュニケーション学科の新設 (添付資料 10)

国際コミュニケーション学科に中国語コースを新設。中国語を取得させ、国内外の大学編入学、国内・中国での就職を目指す。資格検定試験に力を入れ、2年次に HSK (漢語水平考試) 4級以上の習得を目指す。また、楽しみながら中国語を学ばせるために、中国発のアプリやコンテンツである「TIKTOK」や「BILIBILI」を活用する。さらに、若者に人気で中国で世界最大のマーケットを誇る「eスポーツ」を授業に取り入れ、非言語コミュニケーションの向上やeスポーツのマネジメント、運営方法なども取得させる。

4段階評価平均 [4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切]

評価項目 (今後の取り組みについて)	評価 (4～1)
学校外の協会等と連携をとっているか	4
地域に対する取組を行っているか	4

### 【指摘事項】

現在の社会情勢に鑑み、学生が望む将来像に向けてしっかりと取り組んだカリキュラムが考えられ、それを外部に発信する努力を惜しみなく行なっている点を特に評価したいと思います。

以上